

# 第17回学生生活調査結果に基づく 支援・改善事項

学部・研究科

# 【学部】

学部名	調査項目	支援・改善事項	支援・改善事項(方法)の例示	R7.3末日現在対応状況
多文化社会学部	キャンパス全般	教室コンセントの充実および充電ゾーンの設置	PCを充電するための延長コードを教室に設置し、教室前方に充電ゾーンを設けることを検討する。	2024年9月に収容人数が多い教室（G-3A教室）にて、教室の数カ所にPC充電用の延長コードを設置した。
	キャンパス全般	OiTrの設置	トイレの入り口および個室の入り口にOiTrがあることの掲示をする。	2024年8月にダイバーシティ推進センターからOiTrのステッカーを提供してもらい、OiTr設置中のトイレ入口に掲示を行った。
	キャンパス全般	男子トイレの手洗い水道修繕	男子トイレの手洗い水道の圧力が強いため、業者へ修繕を依頼する。	2024年8月に施設へ連絡し、業者が修繕を行った。
教育学部	キャンパス全般について	ウォシュレットが故障しており、便座が冷たいところがある。	トイレ設備の点検を適宜行うとともに、予算も勘案しつつ、必要に応じて修理等の対応を行う。	トイレ設備の点検を行い、便座の設定及び修理対応を実施した。
	キャンパス全般について	プール横の部室等の劣化	部室の劣化具合を確認し、必要に応じて予算捻出等の検討をしていく。	予算捻出は難しかったが、部室のドアの立て付けが悪かったため直した。
	キャンパス全般について	11番講義室入り口のバリアフリー化	将来的な改修の実現に向けて、予算捻出の方法等を検討していく。	関係部署に相談し、予算の関係上、すぐに改修はできないが、車いすの学生の入学があるなど、状況に応じた対応をお願いすることができることを確認した。
経済学部	キャンパス全般について	キャンパス敷地内通路の保全・整備	・キャンパス内、特に正門から建物までの凹凸解消、水たまりの解消 ・外灯の配置や明るさの再点検	定期的な目視点検や教員を含めた学部構成員からの情報提供により、修繕必要箇所を把握し、石畳の補修等可能な範囲で改修及び点検を行った。
	キャンパス全般について 学生生活全般について	食堂の充実	・生協（食堂）へ学生の声を届ける場や機会の設定及び働きかけ	学生から生協食堂の充実を望む声は生協側にも届いているものの、経済学部店の厳しい運営状況の現状においては、今まで以上の充実は難しく、新年度からは持続的な営業継続のため合理化を図るべく出食形態の変更により対応することとなった。
	学生生活全般について	キャンパス環境整備	・定期的な施設点検や申し出による建屋関係の改善 ・ベンチ設置や藤棚周辺の整備等による学生交流スペースの設定	・衛生委員会を中心とした定期的な学内施設及び室内の点検が行われ、その都度、対応・改善を行った。 ・講堂周りへ学生が自由に使えるようベンチの再配置を行った。
医学部医学科	キャンパス全般について	女子トイレの設備関係	坂本キャンパスの学生が利用するフロアの女子トイレで生理用品を無料で提供する。	坂本キャンパスの女子トイレにOiTrを導入した。
	大学生活全般について	授業関係	2年生後期のカリキュラム改善に向けてアンケート調査を実施。	2024年10月に新カリキュラムを経験した3・4年生を対象に2年次後期カリキュラムについてアンケートを行い、カリキュラム評価委員会で報告した。それを受けてカリキュラム委員会で令和7年度2年次の時間割について、期末試験や授業の時期を調整し、改善した。
	大学生活全般について	教室の設備関係	第2講義室のプロジェクター等機器を更新する。	第2講義室のプロジェクター等の機器を更新した。
医学部保健学科 医歯薬学総合研究科 保健学専攻	キャンパス全般について	医歯薬学総合教育研究棟および保健学科棟における学生の生活環境の整備	学生の自由学習スペース、リフレッシュスペースの不足は空き教室の共用を促すなどの工夫を行う。講義棟間の移動の危険箇所について点検し、できる範囲の対策を講じると共に、医歯薬、病院と連携し、医歯薬学総合教育研究棟周辺の歩行者優先の対策を検討する。トイレの清潔を保つため、学生にも使用方法の協力を依頼する。	学生の自由学習スペース、リフレッシュスペースの不足は空き教室の共用を促すなどの工夫を行う。講義棟間の移動の危険箇所について点検し、できる範囲の対策を講じると共に、医歯薬、病院と連携し、医歯薬学総合教育研究棟周辺の歩行者優先の対策を検討する。トイレの清潔を保つため、学生にも使用方法の協力を依頼する。
	学生相談体制について	健康上の諸問題に対する対処の充実と相談体制の周知	Q74相談窓口について「ほとんど知らない」の回答が増加している。担任、アドバイザー制度などを活用し、定期的な面談を行っているが、学生の相談窓口としての役割が認識されていない可能性がある。形式的面談にならないよう教員の認識を改め、学生に対しても多様な相談窓口があることを説明する。カウンセラーと協働した学生支援連絡協議会を年2回継続して行い、特に支援を要する学生の情報を共有し連携を図る。	Q74相談窓口について「ほとんど知らない」の回答が増加している。担任、アドバイザー制度などを活用し、定期的な面談を行っているが、学生の相談窓口としての役割が認識されていない可能性がある。形式的面談にならないよう教員の認識を改め、学生に対しても多様な相談窓口があることを説明する。カウンセラーと協働した学生支援連絡協議会を年2回継続して行い、特に支援を要する学生の情報を共有し連携を図る。
	学生生活全般について	課外活動等におけるトラブル、学習との両立に関する教育・啓発	大学における課外活動が活発になったこと、コロナの影響で先輩からの継承が途絶えた部分もあり、アルコールのトラブル、課外活動における役割負担や活動時間の延長などにより、学習との両立に影響している可能性がある。個別面談の機会を通して、学業に影響する可能性のある生活状況についても丁寧に情報をえて適切なアドバイスを行う。	大学における課外活動が活発になったこと、コロナの影響で先輩からの継承が途絶えた部分もあり、アルコールのトラブル、課外活動における役割負担や活動時間の延長などにより、学習との両立に影響している可能性がある。個別面談の機会を通して、学業に影響する可能性のある生活状況についても丁寧に情報をえて適切なアドバイスを行う。

歯学部	キャンパス全般について	歯学部学生懇談会で挙げられたトイレの環境整備に関する以下の要望について改善を図る。 1) 歯学部C棟トイレの洗面台及び便器の清掃の強化 2) 歯学部C棟トイレ洗面台のハンドソープの増量設置	1) 清掃業者への清掃強化の依頼 2) 予算調整のうえで必要数のハンドソープを増量。	1)、2)ともに対応済
	キャンパス全般について	歯学部学生懇談会で挙げられた生協に関する以下の要望について改善を図る。 1) 歯学部内での生協弁当販売数の増量 2) 生協弁当のデポジット容器がゴミ箱に捨てられることへの対応	1) 生協へ弁当販売数の増量検討を依頼 2) 学生ボランティアによる対応又は生協への回収依頼	1) 生協に依頼済 2) 生協よりやってみゆ-でスクに依頼。学生ボランティアでは対応不可とのことで生協にて対応検討中。
	大学生活全般について	歯学部学生懇談会で挙げられた建物整備に関する以下の要望について改善を図る。 1) 歯学部C棟男子ロッカー室及び談話室の環境改善 2) 講義室の機器等の修理	1) 学生の自主清掃への働きかけ及び清掃担当者への依頼 2) 予算調整のうえで故障個所の修理	1)、2)ともに対応済
薬学部	大学生活全般について	坂本地区の地下ロッカー室の換気が悪く、時期によってはカビが生える。また、エアコンを入れてもタイマーが設定されており、すぐに切れてしまう。	スイッチを入れても30分でオフになる設定を4時間に延長しています。除湿器を設置することも検討しましたが、管理が難しいことから、延長することで様子を見ます。	カビの発生は押さえられたが、床は湿気っているときもある。引き続き、気をつけて様子を見るようにします。
医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻	大学生活全般について	授業でPCを使用する際の電源が不足している。講義室にコンセントを増設できないか。	予算と学生からの要望の声が多ければ、予算を見ながら増設を検討します。	多くの学生から要望が出されることはなかった。延長コードで対応するなど考えられるが、公共物をどう管理するかの問題がある。十分充電を行い授業に臨むように周知する。
情報データ科学部	学生相談体制について	窓口での情報提供が不十分	窓口にお問い合わせにきた際に、どのような情報が必要かしっかり聞いてから対応する。	問合せにきた際には、内容を確認したうえで、各担当職員が対応をするようにしている。引き続き、わかりやすい情報提供に努める。
工学部 工学研究科	キャンパス全般について	女子トイレが少ない。	2023年度に1号館2階の男子トイレを1つ女子トイレに変更するなど改善を行っている。	配置上、女子トイレに改修できる男子トイレがなく、今年度は女子トイレへの改修は行っていないが、代わりに女子学生の利便性を考え、女子トイレに優先してハンドドライヤーを設置し、使い勝手の向上を行った。
	キャンパス全般について	工学部1階のレンガの通路ががたがたしている。	2022年度から、状態が特に悪い箇所から優先し、改修工事を進めている。	引き続き、状態が特に悪い箇所から優先し、改修工事を進めている。
	キャンパス全般について	工学部棟にくるお弁当がすぐなくなる。	生協に授業カレンダーを渡し、授業及び試験日には、現在販売している弁当の数量を増やしてもらうよう依頼する。	生協の担当者に工学部授業カレンダーを送り、学生からそのような意見があったことを伝えた。
	大学生活全般について	現役教職員の方による講演が聞きたい。	電気電子工学コースでは、学部1年生の初年次セミナーの時及び学部3年生の卒研配属前に各教員の研究紹介を行っている。学生参加が可能な現役教職員による講演として、リレー講座や長崎大学公開講座やシンポジウム等を行っており、今後もこのような機会の提供ができるよう検討する。	リレー講座のテーマが半導体であったこともあり、学生に掲示・メール連絡等で情報提供を行った。
	修学について	(研究指導に対する不満) コミュニケーションが取れないときがかなりありました。 教授が面倒を見ない	研究科の学生は、主指導教員以外に副指導教員がついている。主指導教員が対応できない状況が発生した場合は副指導教員に相談するとよい。今後は、副指導教員がついていることをより周知する。	特に対応を行えていなかったため、今後、指導体制について周知を徹底する。
環境科学部	キャンパス全般について	留学生との交流に関するイベントの周知	学年別のオリエンテーションで環境科学部サマースクールを周知しているが、全学的な交流関係のイベントについてもメールや掲示板等を通じて周知する。	全学的な交流関係のイベントについてもメールや掲示板等を通じて周知した。
水産環境科学総合研究科 (環境科学専攻)	学生相談体制について	ピア・サポーター制度の周知	ピア・サポーター制度についてメールや掲示板等を通じて周知する。	ピア・サポーター制度についてメールや掲示板等を通じて周知した。
	学生相談体制について	ハラスメント相談員の周知強化	学年別のオリエンテーションで周知しているが、ハラスメント相談員について改めてメールや掲示板等を通じて周知する。	ハラスメント相談員について改めてメールや掲示板等を通じて周知した。
水産学部 水産環境科学総合研究科 (水産学専攻)	キャンパス全般について	駐輪場の整備への対応	水産学務係裏手に水産学部学生向けの屋根付き駐輪場を整備しているが、学生への周知が不十分であったため、学生に掲示、LACS、メール等で場所を再周知する。	学生に掲示、LACS、メール等で場所を再周知した。
	キャンパス全般について	トイレ設備への対応	水産学部では、夏季は節電に伴い温水便座のスイッチを切るが、便座が冷たい感じる時期にそのスイッチを入れるようにし、その期間を学生に掲示、LACS、メール等で周知する。また、手洗い石鹸がない(切れている)トイレには新たに手洗い石鹸を設置(補充)し、そのことを学生に掲示、LACS、メール等で周知する。	便座が冷たいと感じる時期にそのスイッチを入れてその旨を学生に掲示、LACS、メール等で周知した。また、手洗い石鹸がない(切れている)トイレには新たに手洗い石鹸を設置(補充)し、そのことを学生に掲示、LACS、メール等で周知した。
	大学生活全般について	就職・キャリア支援への対応	水産学部では、同就職委員会(委員長1名、委員6名)にてキャリアセンターと連携し、また同同窓会の協力の下、就職・キャリア支援を行っているが、学生への周知が不十分であったため、学生に掲示、LACS、メール等で再周知する。	就職委員会(委員長1名、委員6名)にてキャリアセンターと連携し、また同窓会の協力の下、就職・キャリア支援について、学生に掲示、LACS、メール等で再周知した。

# 【研究科】

研究科名	調査項目	支援・改善事項	支援・改善事項(方法)の例示	R7.3末日現在対応状況
多文化社会学研究科	修学	パワハラ防止	研究科生に対してパワハラに関するアンケートを実施し、対応を検討する。	当研究科生に対して、フォーム形式でハラスメントについてアンケート調査を実施したところ、4名から回答があり、いずれも「ハラスメントはない」との回答が得られた。ハラスメントの存在が確認できなかったため、その後、特段の対応は行っていない。
	大学生活全般	談話スペースの設置	院生研究室2階の演習室を談話室として利用できるかを検討する。	当研究科生に対してフォーム形式で院生演習室を談話室に変更することについてアンケート調査を実施したところ、変更を希望する回答が多数だったため、学内の不要物品となっていたソファ、机、冷蔵庫等を配備し、談話室を設置した。
教育学研究科	健康について	第15回、第16回の調査結果に比べ、第17回の調査結果では、留学生との交流機会を希望する本研究科生の割合が大幅に増加していることが示されたため、本研究科への留学生をはじめ、交流の機会を設ける支援を行う。	院生の研究発表会に留学生の参加を促す。	※院生に意見を募ったところ、現在籍院生においては、授業や研究活動などで多忙のため、新たな国際交流の機会を設けることを希望しない全会一致での回答であった。次年度以降に、新入院生等から交流機会を増やす要望が出た場合には、対応を検討する。
	キャンパス全般について	第15回、第16回の調査結果に比べ、第17回の調査結果では、大学からの情報提供ソースをホームページとしている割合が減少しているため、その理由や改善方法を模索する。	院生へのヒアリングを実施する。	※新型コロナウイルス感染症による登学制限等があったところに在学していた教育学研究科は、大学からの情報提供ソースをホームページとしていたが、現在の在学院生からはホームページからではなく、担当事務からのメールを重宝しているとの回答であった。一方、事務担当者に負担が生じるため、従来どおりの対応を継続することとなった。
	修学について	第15回、第16回の調査結果に比べ、第17回の調査結果では、「複数の教員による多様な視点に基づく教育・研究指導」を望む本研究科生の割合が大幅に増加していることが示されたため、本研究科ですでに実施しているティームティーチング（TT）をより多くの科目に導入できるよう、カリキュラム更新に努める。	研究職教員による講義主体の科目においても実務家教員を参画させるなどの工夫を検討する。	※院生に意見を募ったところ、現状の複数教員による教育・研究指導に不満があるわけではなく、今後も引き続き現在のような体制を維持してほしいとの意見であったため、次年度以降に、新入院生等から要望が出た場合には、対応を検討する。
経済学研究科	キャンパス全般について	キャンパス環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパス内、特に正門から建物までの凸凹解消</li> <li>・外灯の配置や明るさの再点検</li> <li>・定期の除草作業の実施</li> <li>・大学院生室のプリンターの定期点検・修理の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な目視点検や教員を含めた学部構成員からの情報提供により、修繕必要箇所を把握し、石畳の補修等可能な範囲で改善及び点検を行った。</li> <li>・定期的に除草作業を業者に依頼し、実施した。</li> <li>・大学院生室のプリンターについては、故障したため、修理を行った。</li> </ul>
	キャンパス全般について	食堂の充実	・生協（食堂）への学生の声を届ける場や機会の設定及び働きかけ	学生から生協食堂の充実を望む意見は生協に伝え、経済学部店の厳しい運営状況の現状においては、今まで以上の充実には難しく、新年度からは持続的な営業継続のため合理化を図るべく出食形態の変更により対応することとなった。
	キャンパス全般について	附属図書館の充実	・附属図書館（経済学部分館）への学生の声を届ける場や機会の設定及び働きかけ	学生から附属図書館（経済学部分館）の充実を望む意見は経済学部分館に伝えた。学生には附属図書館の投書箱の利用を促す。
医歯薬学総合研究科	大学生活全般について	アルコール消毒液の使用期限の管理	当課が管理している講義室のアルコール消毒液については、適宜補充し、管理を行っているが、容器の使用期限の表示について今一度確認を行い、引き続き適切に管理する。	適宜容器の使用期限表示及び残量を確認し、補充・交換を行っている。
	キャンパス全般について	駐車場の利便性に関する要望（駐車場に屋根がほしい。敷地面積が狭い。）	予算等を勘案し、実施可能な改善方法を検討する。	現在の駐車場の状況を確認し、検討した結果、放置自転車が多く見られることから、自転車の撤去を行うことで、駐車可能な面積を確保することとなった。屋根については、駐車場を利用する学生はごくわずかであること、利用者個人で二輪車にカバーをするなど対応可能であることを鑑みて、設置しない方針となった。
	キャンパス全般について	キャンパス内での危険運転	キャンパス内の道路で一時停止していない車や、20km/h以上のスピードを出している車があるとの意見があった。現在、駐車場許可証の裏面に注意事項を記載する、構内に入りする業者へ注意喚起する等の対策を既に実施しているが、さらなる改善に向け、教職員及び学生への注意喚起をおこなう。	入構許可証申請案内時に、遵守事項（構内に設置した道路標識に従うこと、最高速度は時速15キロメートルなど）をHP上及び添付により周知徹底している。駐車許可証発行願いと併せて、規程を遵守することの誓約書を提出させている。さらなる改善に向けた注意喚起の方法については、担当部署と検討を行った。
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	キャンパス全般について	TMGH棟の上階ほど、トイレの流れが悪い	TMGH棟において教室があるフロアのトイレの水圧を上げる。	教室がある4Fと1Fのトイレについて、施設部に依頼し調整を行った
プラネターヘルス学環	キャンパス全般について	図書館に十分な英語書籍がない	学生に対し、購入図書の方法を英語でアナウンスする。	10月入学の学生も含め、在学生メールリストを使い周知を行った。

# 第17回学生生活調査結果に基づく 支援・改善事項

## 全学施設

調査項目	支援・改善事項	支援・改善事項(方法)の例示	具体的な意見	R7.3月末日現在対応状況
キャンパス全般	トイレ関連	トイレの老朽化が著しい箇所や和式トイレについて、年次計画に従って改修や洋式トイレへの更新を実施し、トイレの環境改善を図る。		「別紙_トイレ改修計画」を作成し、令和7年度以降、順次対応予定。
キャンパス全般	学内危険箇所への安全対策	安心・安全なキャンパス整備の観点から危険箇所については、現地を確認の上、補修が必要な部分については速やかに補修を実施する	坂本キャンパスの体育館の床の木がめくれてきているところがあり危ない。	●床 調査の結果、美観を損なうような塗装のはがれはあったが、床のササクレ等の安全性に問題がある異常箇所は見受けられなかった。 ●壁 壁については、一部破損箇所を補修し対応済み。
			体育館側の駐輪場から出ようとしたとき事故になりかけた。見通しが悪くて、右方向に行くのがとても怖い。	停止ライン及び「とまれ」文字を記載することで対応済み。
			薬学棟2階のベランダから人が落下しそうなので、落下しないようにしてほしい。	手摺（鋼管）及び巾木を設置にて対応済み。
			おもやり広場が汚い。整備されていないベンチと橋が危ない。	●ベンチ R7年度以降に学内営繕工事等にて対応予定。
			おもやり広場の木製の橋が雨天時滑って危ない	
			教育学部のおもやり広場の橋がボロボロである。また、環境的にも景観が良いとは言えず、以前には草まけたこともある。	●橋 危険性がある橋本体の劣化は無し。転倒防止については、塗布タイプのすべり止め対策を行い対応済み。
			教育学部等と食堂の間の池のところの木の橋の部分が雨の日などにとても滑り最近欠けてきている	
			黒ずんで見える。非常階段（電気電子棟）が錆がひどく、壊れそうで怖い	令和7年度以降に学内営繕工事等にて対応予定。
			バイク駐輪場（総研棟の裏）。バイクや原付が十分にスピードを落とさずに駐輪場に侵入している。歩行者等の安全のために、スピードを落とさせるための障害物の設置する、または歩行者用の通路を設けるべきである。	見通しが悪い目隠しフェンスを見通しが良いフェンスに交換することで、安全性を確保した。
			経済学部の食堂の2階に続く階段が脆くなっていて、雨漏りも尋常ではなかったため、倒壊する恐れがあると感じた。	H25年に鉄骨階段塗装改修を行っており、若干の鉄骨床の腐食はあるものの、倒壊を招くような劣化は無し。よって対応無し。
学生プラザ2階の入り口に置いてあるすこの釘が出ていて危なく、変えてもらえると嬉しいです。	「すこの取替え」を学生支援課にて行うとのこと。			
環境棟から工学部にかけての歩道の凹凸	安全性、意匠性等を考慮した整備について現在検討中。			
工事車両などが停車している時に、カーブコーンなどで周りに養生などを行っていない。	工事業者に更なる安全管理の徹底について周知する。			

# トイレ改修(和便器更新)計画

団地	棟番号	建物名称	設置年	経年数	便所改修歴	階数	調査場所	面積㎡	建物経年数	改修年	改修後の経年数	便器の個数				改修予定年度		
												小	和	洋	計	2025年度	2026年度	2027年度
文教1	39	附幼事務室(S50)	1975	50	有	1	便所	14	50	2001	24	3	1	2	6			●
							計	14			3	1	2	6				
文教1	40	保育室	1968	57	有	1	便所	24	57	2001	24	4	1	4	9			●
							計	24			4	1	4	9				
文教1	42	附属小学校校舎	1970	55	有	1	【113-1】便所	32	55	2002	23	4	2	4	10	●		
							【126-1】便所	32	55	2004	21	4	3	3	10	●		
							【129-5】便所	1	55	1999	26			1	1	-	-	-
							【210-1】便所	32	55	2002	23	4	2	4	10	●		
							【216-1】便所	32	55	2005	20	4	3	3	10		●	
							【222-1】便所	32	55	2004	21	4	3	3	10	●		
							【309-1】便所	33	55	2005	20	4	3	3	10		●	
							【122-1】職員便所	31	55	2005	20	3	3	2	8		●	
							【122-2】多目的便所	3	55	2005	20			1	1	-	-	-
							計	228			27	19	24	70				
文教1	52	附中プール更衣室棟	2008	17	無	1	【103】男子便所	10	17	無	-	4	2		6			●
							【105】女子便所	10	17	無	-		3		3			●
							計	20			4	5	0	9				
文教2	35	サークルセンター1	1959	66	有	1	男子便所	10	0	2005	20	3	1	1	5			●
							女子便所	15	0	2005	20		2	1	3			●
							計	25			3	3	2	8				
文教2	75	教育サークル棟	1967	58	無	1	男子便所	6	58	無	-	2	1		3	●	-	
							女子便所	5	58	無	-		2		2	●	-	
							計	11			2	3	0	5				
文教2	104	体育管理棟	1974	51	有	1	男子便所	11	0	1998	27	3	2		5		●	
							女子便所	12	0	1998	27		3		3		●	
							計	23			3	5	0	8				
柳谷	1	附属特別支援学校校舎	1969	56	有	1	男子便所	12	0	2006	19	3	1	1	5			●
							男子便所	8	0	2008	17	2		1	3			-
							男子便所	12	0	2006	19	3	1	1	5			●
							女子便所	12	0	2006	19		1	2	3			●
							女子便所	8	0	2008	17			2	2			-
							女子便所	12	0	2006	19		1	2	3			●
							計	64			8	4	9	21				

※上記表は計画年度内に更新対象がある建物のみ表示

※予算の状況や使用状況により計画を変更する場合あり

# 第17回学生生活調査結果に基づく 支援・改善事項

生協  
(食堂など)

キャンパス	支援改善事項	支援・改善事項(方法)の例示	R7.3月末日現在対応状況
文教	①メニュー数、量について ⇒種類や量が少なく、健康面が気になる  ②設備面、広さについて ⇒並び方を改善してほしい	①メニュープランナーに新メニュー作成を要望。  ②混雑対策として、2023年10月に提供スピードが速い主菜コーナーに並びやすいようレイアウトを変更。	①約20種類の新メニューを令和7年3月3日より順次提供。  ②丼コーナー、麺コーナーの並び方を変更。カテテリアは並んでいる位置から待ち時間の目安を表示。
坂本	①メニュー数、量について ⇒弁当数が少なく、売り切れが多い  ②設備面、広さについて ⇒食事以外での長時間使用が目立つ	①仕入れを増加予定。  ②食事終了後は速やかに席を譲っていただけるように掲示し呼びかけ。	①歯学部店において、午後からの値引きを廃止し、閉店時まで商品を在庫できるよう発注数を増加した。また、冷凍肉まんの販売を実施。  ②混雑時はお食事が終わり次第席を譲る旨を記載したPOPを複数名掛の座席に設置。
片淵	①メニュー内容について ⇒メニューがすべて揚げ物のみの日も多く、バリエーションを増やしてほしい  ②メニュー数、量について ⇒売り切れが早い	①メニュー構成を変更  ②食数設定精度を高める。	①令和7年4月よりワンプレートメニューに変更。5月以降は季節メニューやフェアメニューを編成。  ②ワンプレートメニューにおいては、持ち帰りも対応。また、閉店まで品切れのない提供数を設定見直し。
共通	①ミールカード限度額の改定希望 ⇒限度額が足りない	①限度額改定	①令和7年度のプランは、1日利用限度額を、それぞれ650円は670円に、1,000円は1,040円に、1,300円は1,360円に改定。